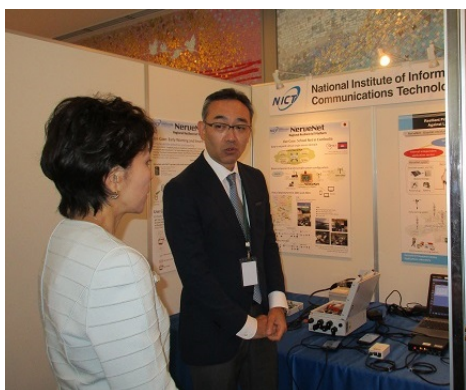


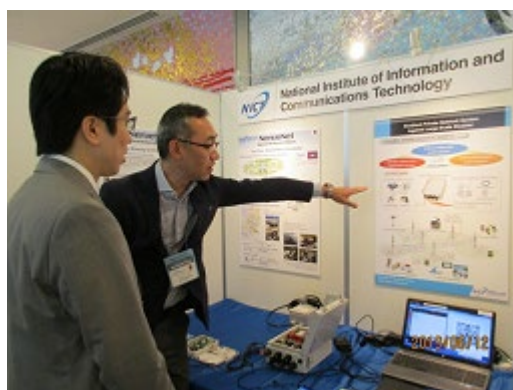
## 日本で開催されたアジア・太平洋標準化会合 APT WTSA20-1 および ASTAP-31 への参加報告

6月11日から15日まで、東京・秋葉原で、アジア・太平洋電気通信共同体（APT）の WTSA20-1<sup>※1</sup> 及びアジア・太平洋電気通信標準化機関第31回会合（ASTAP-31<sup>※2</sup>）が総務省のホストにより開催され、APT 加盟国から20か国・約170名の参加があり、NICTからも17名が参加しました。

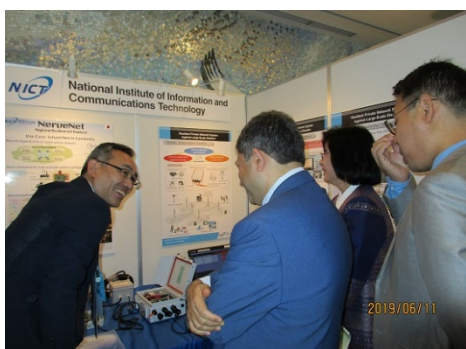
NICTは、ASTAP-31でIoTをテーマに開催されたIndustry Workshopにおいて、NICTが先導するASEAN域内のバーチャルな研究連携組織「ASEAN IVO」を紹介する講演をしました。また、同会場において行われた技術展示に、災害に強いネットワークシステムのNerveNetを出展し、国内・海外での利用例を紹介しました。展示には、総務省の佐藤副大臣、國重政務官、渡辺審議官、アリワンAPT事務局長をはじめとして数多くの方が視察されました。



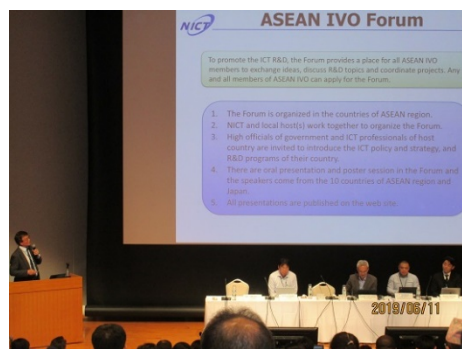
佐藤副大臣の視察



國重政務官の視察



アリワン事務局長の視察



インダストリーワークショップの様子

※1 国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）の総会である世界電気通信標準化総会（WTSA-20）に向けたAPT加盟国における準備会合の第1回会合。

※2 APT 地域における情報通信分野の標準化活動協力を強化し、国際標準化活動に貢献することを目的とした、域内での実装指針の検討やAPT共同提案の作成などの活動を行うための第31回会合。